



## かがやけ筑南っ子 後期が始まりました。

10月15日(火)、本日、後期の始業式を行いました。

始業式では、3つのことを頑張ってもらいたいと話しました。

一つ目は、何事にも興味を持って、進んで取り組んでほしいということです。ノーベル化学賞を受賞された吉野さんは、小学生の時に「ロウソクの化学」という本を読んで、化学に興味を持たれたそうです。そのことを例に挙げて、何事にも興味を持って、進んで取り組むことの大切さを話しました。

二つ目は、本年度の重点目標達成に向かって、前期よりもさらに、進んで「自分の考えを伝え合うこと」「お互いのよさを認め合うこと」を頑張ってもらいたいということです。

三つ目は、学級みんなで一緒にチャレンジすることを決めて取り組んでほしいということです。現在、6年生は「NHK かつび王選手権」や「スポコン広場」に向けて、長縄跳びを頑張っています。ほかの学年の人たちも、長縄跳びに限らず、みんなで同じ目標に向かってできることを話し合っ、しっかりと取り組んでほしいと思っています。



### あいさつ名人

筑南小学校では、「気持ちの良い挨拶」や「はいの返事」ができるように日々の指導を行っています。4月当初から比べると、朝の挨拶が良くなってきました。そこで、前期の終業式において「あいさつ名人」の表彰を行いました。評価の規準としましては、「毎日(欠席した日は除く)進んで挨拶をすることができる」「相手の顔を見て挨拶することができる」「はっきりとした声で気持ちの良い挨拶をすることができる」です。前期は全学年で33名でした。後期は129人全員が「あいさつ名人」になれるよう頑張ってもらいたいと思います。

### 「自分の考えを伝え合う」(対話活動)

重点目標の「自分の考えを伝え合い、認め合う子ども」の達成に向けて、学習の中にペアや小グループで自分の考えを伝え合う場(対話活動)を取り入れています。相手に自分の考えが伝わるように、学習ノートに書いた自分の考えを見せながら話したり、ブロックなどの道具を実際に動かしながら説明したりしています。このような学習を通して、思考力・判断力・表現力を身につけた子どもに育てていきたいと考えています。



### 前期学校関係者評価委員会

9月17日、筑南中学校において学校関係者評価委員会を開催いたしました。小中学校の前期までの取り組みを知・徳・体そして小中連携や地域連携など、さまざまな観点から学校が評価した結果が適切かどうかを学校評議員さん方に評価していただくことを狙いとしています。その中から、重点目標に関係する評価結果を紹介いたします。

- ・市販テスト定着8割以上・・・3.20
- ・相手や場に応じたあいさつ・・・2.43
- ・体力向上のめあて設定・・・3.00

※達成4、概ね達成3、不十分2、要努力1

本年度の学校評議員さんを紹介いたします。  
少年補導員様、主任児童委員様、北山保育所長様、筑南中学校PTA会長様、筑南小学校PTA会長様  
どうぞよろしくお願いいたします。